

東京専従日誌



全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦

「教文研ウェビナー」
香川県教職員連盟の皆様、お久しぶりです。全日教連の原井です。現場の会員の皆様におかれましては、Withコロナの新しい生活に迎えられたことと思います。全日教連は毎年開催している教育シンポジウムに変わって、工藤勇一氏を講師にお迎えして開催した教文研教育ウェビナーの様子についてお話しします。

【あなたこそ当事者意識を見失っていませんか】

学校現場の会員の皆様は、とりわけ管理職や教務を務めていらっしゃる方は、著書『学校の『当たり前』をやめた』等を読まれた方も多いと思います。工藤氏の講演の中で、「日本財団が高校生に行った6つの質問に関する調査では、9か国のどの国と比べても自己肯定感が低く、大人だと思えず、責任ある社会の一員だと思えない」という結果でした。人は与えられることに慣れてくるとそれが当たり前になってきます。日本の社会はサービス提供を頻繁にする国です。みんながサービスを求め、慣れた人間はもっとサービスを求めようになり、サービスしつらくなって当たり前だと思いませんか。教育の世界も同じです。子供の頃から手をかけまくります。そのうちあれもこれもと。手をかけていくと

若者の「国や社会に対する意識」

	自国を誇れる人々	自国は良けがた社会の一員だと思えず	自国を誇れる人々	自国は良けがた社会の一員だと思えず	自国を誇れる人々	自国は良けがた社会の一員だと思えず
全世帯	29.1%	44.6%	60.1%	18.3%	46.4%	-27.2%
インド	84.1%	92.0%	95.9%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア	79.4%	88.0%	97.0%	66.2%	74.6%	79.1%
中国	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム	65.2%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
韓国	89.9%	96.5%	96.0%	65.4%	73.4%	87.7%
イギリス	82.2%	89.5%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

日本財団「18歳層意識調査」から 2019.11

どうなるかという子供はあまり考えなく、必ず人のせいになります。そのような生徒に麴町中では「ハビリー」という自己決定を重ねることで自律を促します」という内容でした。この話から私自身を振り返ると、当事者意識を見失いついてきたことが多く、指示してもらおうことを当然のように考えていました。まさに、うまくいかないと誰かのせいにしてきたこともその通りだと思いました。あなたこそ当事者意識を見失っていませんか、問いかけられたようなウェビナーでした。日本財団の調査結果からもこれからの教育は自ら考え行動できる子供たちの育成を目指し、学校現場が誰かの指示に頼ろうとする発想を変え、主体的に最上位目標の達成の手段を考えることが求められています。学校の最上位目標の理解のもとに目標達成のための手段を対話を通して合意形成する中で、対立も生まれませんが、最上位目標の共有があれば異なる意見も受け入れられるようになります。きまりを守ることも大事ですが、当事者意識をもって新しい価値を創造する子供たちの育成は、世界の産業界から今後ますます求められていくと感じました。余談ですが、事務局で対話を重ねながら初めてのオンラインセミナーが実現したことは、全日教連、教文研にとっても大きな一歩だと感じています。

【教文研研究部会】

八月、九月、十月と三回の教文研研究部会が開かれました。十月二十四日で今期の研究部会も最後となりました。第十八期は、「言葉の力を高める学習指導」をテーマのもとに、研修を行い、香教連からは、黒川幸宣氏が友達の相談事をクラス会議で対話することを通して非認知能力を身に付け、社会で求められる主体的な対話の実践をまとめてくださいました。また、この実践が朝の十分間のクラス会議を通して行われたことも、前例にとらわれず言葉の力を高めるといえる最上位目標に向かって進んでいく黒川氏が考えた斬新な取り組みでした。子供同士の対話を通じて目的を達成する活動は、まさに工藤氏の「柔軟な発想があるから」と感じます。そんな黒川先生の実践の詰まった機関誌「教育創造」は、二月に皆さまのお手元に届けるために準備を進めています。また、黒川先生、二年間の研究活動ありがとうございました。



香川県教職員連盟 Facebook開設中!



四日 小豆評議員会(土庄公民館)
丸亀評議員会(県立丸亀競技場)

八日 日本教育文化研究所教育問題審議会
(Zoomによるリモート会議)

一日 丸教協相談会(県立丸亀競技場)

一四日 県教委変形労働時間制についての説明会
(香川県教育会館)

二二日 令和二年教育シンポジウム兼香教連教研大会
第一回事前研修会(鳴門教育大学)

二四日 令和二年教育シンポジウム兼香教連教研大会
第二回事前研修会(香川県教育会館)

二五日 全日教連教育研究全国大会打ち合わせ会
(Zoomによるリモート会議)

迎春

笑う門には福来たる
今年も笑顔いっぱい
あめせいはい

